

セアカゴケグモなどにご注意ください！

外来生物法に基づく特定外来生物であるセアカゴケグモやハイイロゴケグモが、九州でも確認されています。

セアカゴケグモなどは、車やコンテナなどに付着して生息域を広げ、今後、県内への拡大も懸念されます。

もし、セアカゴケグモなどを見つけた場合は、靴で踏みつぶすか、市販の殺虫剤等で駆除し、市町又は最寄の県の機関へお知らせください。

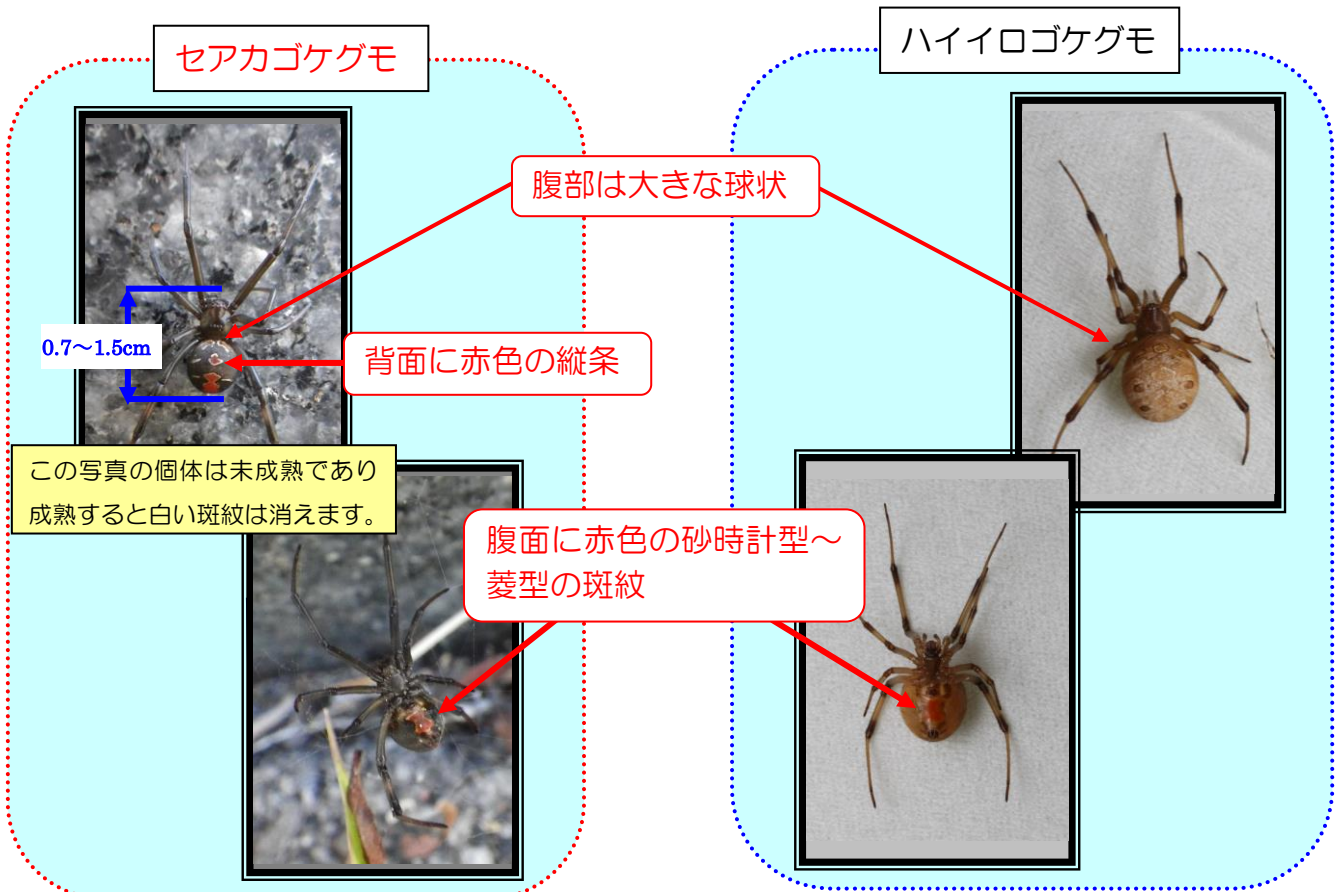
1. 見分け方・特徴

【セアカゴケグモ】

○成熟したメスの体長は、約 0.7~1.0cm。全体が光沢のある黒色で、腹部の背面に目立った赤色の縦条、腹部の腹面に赤色の砂時計型~菱形の斑紋があります。

【ハイイロゴケグモ】

○成熟したメスの体長は、約 0.7~1.0cm。色彩はさまざまで腹部の背面が真黒なもの、茶色や灰色を基調として斑紋をもつものなど変異が多いですが、腹部の腹面に赤色の砂時計型~菱形の斑紋があります。



- 日当たりの良い暖かい場所で、側溝、プランターの底、室外機の裏などに営巣します。
- おとなしい性格で攻撃性は少なく積極的に人を襲うことはありません。
- 毒をもつのはメスのみです。
- 巣は、きれいな同心円状ではなく不規則で立体的な形で地面に近いところに作ります。

2. ゴケグモを発見した時の対応

①確認

- ・ゴケグモの特徴をもとに確認してください。

②処分・報告

- ・家庭用殺虫剤（ピレスロイド系）を直接噴霧するほか、熱湯をかける、靴で踏みつぶす等の物理的な方法で駆除してください。
- ・卵のう（卵が入っている袋）は外皮に覆われており、殺虫剤が効きにくいのでビニール袋に入れて踏みつぶした上で、殺虫剤を噴霧してください。
- ・駆除後、下記に連絡してください。

③その他注意事項

- ゴケグモを見つけても、素手で捕まえたり、さわらないように気をつけてください。

3. 咬まれたときの措置

①症状

- ・針で刺されたような痛みを感じます。その後咬まれた部分が腫れ、熱くなります。
- ・通常は数時間から数日で症状は回復しますが、重症例では、進行性の筋肉麻痺が生じます。

②対応

- ・余分な毒を温水や石鹸水で洗い流し、できるだけ早く医師の治療を受けてください。
(咬んだクモの種類がわかるように、できれば殺したクモを病院に持参してください。)

4. その他

- ・ゴケグモに咬まれないように屋外で作業する場合は、軍手などの手袋を着用してください。

連絡先

○長崎県関係機関

- | | |
|--------------------------|--------------|
| ・環境部自然環境課(長崎市尾上町3-1) | 095-895-2381 |
| ・島原振興局総務課(島原市城内1-1205) | 0957-63-0111 |
| ・県北振興局総務課(佐世保市木場田町3-25) | 0956-23-4211 |
| ・五島振興局総務課(五島市福江町7-1) | 0959-72-2121 |
| ・吉岐振興局総務課(吉岐市郷ノ浦町本村触570) | 0920-47-1111 |
| ・対馬振興局総務課(対馬市厳原町宮谷224) | 0920-52-1311 |

○市、町の役場